

横浜の挑戦！ 新たな「教育データ」の創出

横浜教育データサイエンス・ラボ が始動します

横浜市では、児童生徒約26万人の教育ビッグデータを活用し、教員、大学、企業との共創によりデータ分析を行い、エビデンスに基づく学びの実現や、教育内容の充実を図ることを目指しています。

今回、その具体的な枠組みである「横浜教育データサイエンス・ラボ」として、教職員、大学、企業が一堂に会し、学校にとって有効な「教育データ」※について議論します。

(※「教育データ」とは、教育的な課題を解決するための、エビデンスに基づく手立てとそれにつながる客観的なデータと考えています。)

◆ 横浜教育データサイエンス・ラボ(Data Science Lab)

- 若手から中堅の教職員、専門的な知見をもつ大学研究者、データの分析・加工の専門的な技術をもつ企業で形成される研究の場
- 教員の課題感や求める効果を出発点とし、大学や企業の知見やノウハウを組み込んで研究をする
- 児童生徒約26万人の教育データを分析し、教職員や子どもたちに有効な「教育データ」を提供する

- 1 概要 開催日時：令和6年9月20日（金）15：00～16：45
会場：横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス「NANA Lv.（ナナレベル）」
（横浜ランドマークタワー7階）

- 2 参加者（予定）
横浜市立小・中・義務教育・高等・特別支援学校の教職員
OECD（経済協力開発機構）日本政府代表部職員
慶應義塾大学、千葉大学、桐蔭横浜大学、横浜国立大学、横浜市立大学
株式会社内田洋行、東日本電信電話株式会社、他

- 3 次第 (1) 教育委員会挨拶
(2) 事務局説明（データサイエンス・ラボについて）
(3) 研究テーマ①について

算数・数学の学力と意欲の分析

- (4) グループディスカッション
(5) 研究テーマ②について

子どもの心の不調をなくす横浜モデルの開発

- (6) グループディスカッション
(7) 今後のデータサイエンス・ラボに向けて



データサイエンス・ラボのイメージ



グループ協議のイメージ

【裏面あり】



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



送付書不要

【送付先】 横浜市教育委員会事務局 教育課程推進室

F A X 045-664-5499

E-mail ky-kyoikukatei@city.yokohama.jp

報道関係者 取材申込書

9月20日(金) 「横浜教育データサイエンス・ラボ」

① 報道機関名	
② 申込代表者名	
③ 取材人数(②の方も含む)	
④ 連絡先(携帯等)	
⑤ ムービーカメラの有無 (該当するものに○)	有 (台) ・ 無
⑥ スチールカメラの有無 (該当するものに○)	有 (台) ・ 無
⑧ 備考	

令和6年9月19日(木) 12時までに必要事項をご記入のうえ、お申込みください。



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

